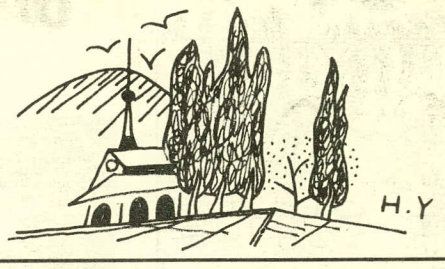
昭和45年12月15日　オ192号　（毎月15日発行）

広報あさう

発行所　麻生町1561—9　麻生町役場
発行人　電話(代)420番　小沼幸蔵
印刷所　麻生印刷

12月1日の人口

男	女	計	世帯数
8,865人	9,207人	18,072人	3,844戸



12月のメモ

2～4日　農地交換分合権利書の交代
3、4、7日　住民登録実態調査打ち合せ
6日　ママさんバレーボール大会
8～10日　老人健康精密検査
14日　婦人ガン検診
21日　工業統計打ち合せ
　農業委員会
22日　臨時議会　民生委員会議
24日　長期人院者慰問
24～25日　町民税三期、国保税四期、国民年金料徴収
28日　御用おさめ

農業は俺たちの手で

4Hクラブで実績発表会

麻生町農村青少年クラブ（会長茂木敬章、会員百十人）では十一月十三日、麻生公民館において、農業研究実績発表会をおこないました。

麻生町農村青少年クラブは八つの4Hクラブから成り立ち、農業後継をめざす青少年がクラブ員で、実績発表会は農業経営研究の総まとめです

この発表会では、めまぐるしく進行する社会に農業の歩調をどのように合わせて行くか実際に新しい農業を取り入れた動機、その現況、これからの課題などが細かに発表されました。

鬼沢君に町長賞

発表した人は六人、特に優秀と認められた鬼沢泰正君には町長賞、その他の人にも農協組合長賞などが授与されました。

—酪農部門導入について—

鬼沢泰正（於下）

◇動機◇

水稲プラスたばこの二本立て経営で現在以上の収入は望めなく、共に生産過剰作物なので月々収入の有る自分自身の仕事がしたい。

◇研修◇

千葉県鎌ケ谷町の牧場で昭和四十四年十二月から四十五年三月まで飼養管理技術の習得（特に搾乳技術）研修をおこない、自信がついた。

◇経過◇

44年11月　育成牛導入
　　12月　〃
45年4月　経産牛導入
45年5月　経産牛導入
45年5月　自家繁殖育成
　　6月　経産牛導入
　　9月　未経産牛導入
　　10月　経産牛導入

現在は経産牛五、未経産牛二、育成牛一、計八頭で一日の産乳量七十五キログラム（三千九百円）一カ月の飼料代約七万円。

◇これから◇

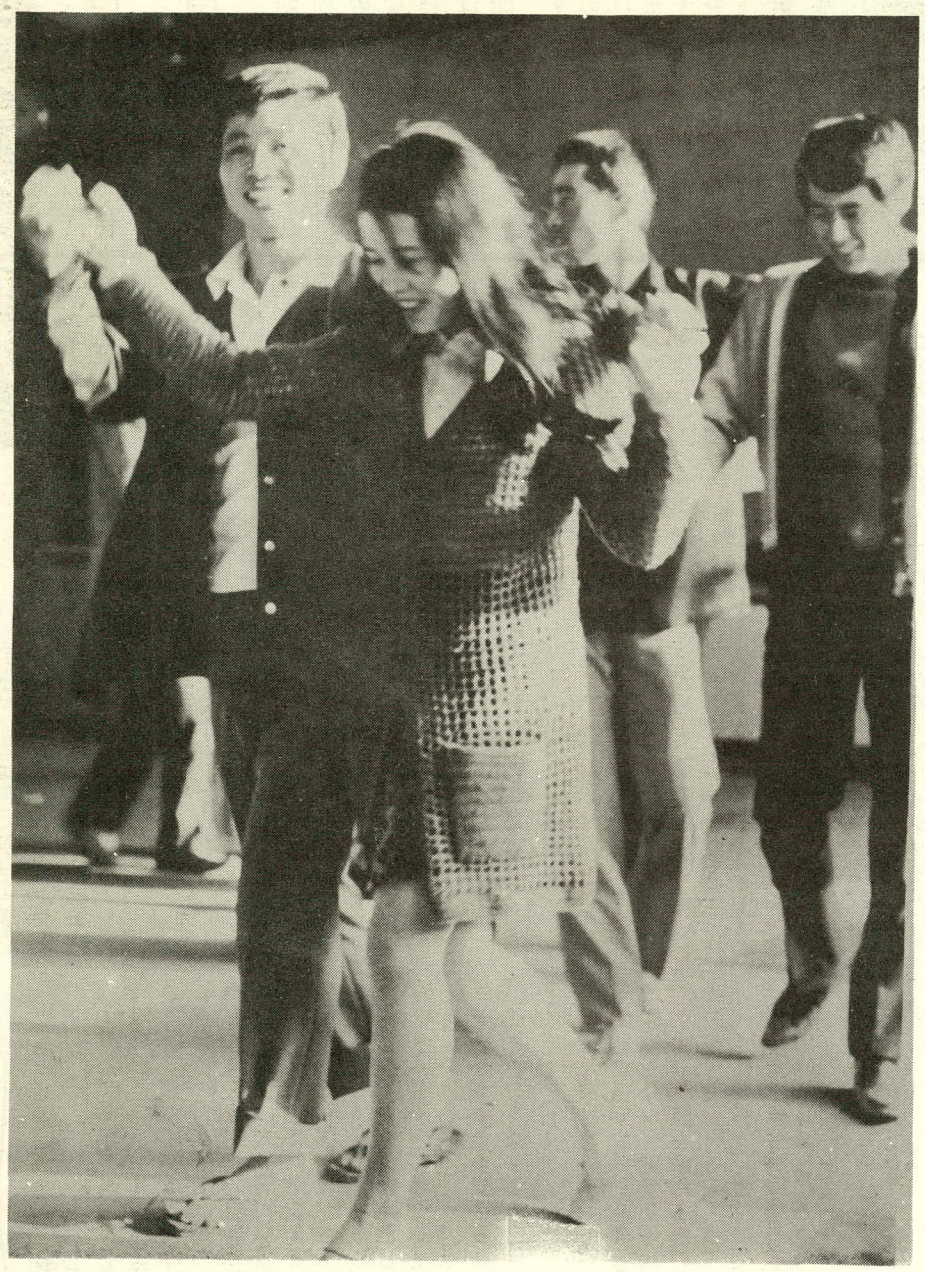
現在たばこ耕作もしているので、これを上まわる収益が酪農部門で得られた時、酪農主体の農業経営にきりかえ、飼養頭数二五、二十頭常時搾乳という経営形態にしたい。

①残留農薬、抗生物質等の問題がクローズアップされたので牛の病気などの早期発見、治療、飼養管理の徹底

②多頭化と自給飼料生産で生産費の軽減

③牧草畑の確保と牧草栽培における糞尿の高度利用

＜五寸人参の栽培＞
仲田武穂（麻生）
＜ブロッコリーの栽培＞
前川秀夫（繕沢）
＜大粒落花生のマルチング栽培＞
菊地一夫（石神）
＜甘藷オガクズ施肥＞
箕輪和則（小高）
＜夏紅なでしこの栽培＞
橋本一郎（富田）



—発表会の後で楽しくフォークダンスを踊る—

ガンバレ4Hクラブ

会場に集ったクラブ員に4Hクラブの問題点とこれからの課題を聞いてみると、集会を持つた時、遊び主体のときは多勢集るが研修主体のときは集りが悪い。農業経営に不安な人もあり、簡単に収入の得られる鹿島などへ働きに行く人が多くなつた。

農業経営は現在苦しい面が多いが、鹿島地域の人口増加で野菜、豚肉、鶏卵、牛乳等の需要は伸びるので努力と方法でいくらでも開拓できる。

クラブでは会員の量より質をめざし研究を続けて行きたいと張り切つています。

すばらしかつた空からの茨城

高栖さん

内山さん

新原の内山はるゑさん（富夫さん方）と小高の高栖恒子さん（行夫さん方）は、茨城県主催の県民の日アンケート募集に応募、みごと当選して十一月二十二日行なわれた「茨城を空から見る会」に招待され、わが郷土茨城の姿を空から見学しました。

二人とも飛行機は初めて、おもいがけない招待に家族もビックリ、百里基地から飛びたつYS—11に乗るまで幾分の不安もあつたが、空は澄みわたり、青い水と緑の多い空からの茨城にうつとり見とれてしまつたようです。

鹿島港、日立の煙突、水戸勝田周辺に建ち並ぶ家々、箱庭をのぞいているような中で青い海と緑の山が広く感じられた。開発の進んでいる所と寒村の差が一目でわかる。区画整理された所はきれいだつたが道路網はなんとかならないだろうか。

初めて見る空からの茨城に地上では考えなかつたいろいろな事に思いをめぐらし、郷土がいつまでも美しくあるように、その美しさを今一度空から見たいと二人は感想を語つてくれました。

第七回臨時議会

国保予算の補正

第七回臨時議会が十一月二十四日開かれ、三議案が原案どおり議決されました。

＜議案第54号＞茨城県市町村退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加および茨城県市町村退職手当規約の変更について。

＜議案第55号＞麻生町営住宅設置条例の一部を改正する条例。（町営住宅の増加）

＜議案第56号＞昭和四十五年度麻生町国民健康保険特別会計補正予算。

事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四十七万八千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ一億五千九百五十六万四千円として、直営診療施設勘定の歳入歳出予算の総額をそれぞれ四百九十四万円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ八千三百七十五万円とする。

〔善〕〔意〕

南老人会（代表浅野長寿）は小高小学校へぞうきん三十枚贈りました。

麻生町青年団青沼支部（代表羽生富久勇）は青沼公民館へ石油ストーブを贈りました

善意銀行へ次のかたが預託されました。

宇崎の山口清さんは宇崎子供会へ二千円

繕沢子供会は県立ひばり学園へ慰問品を贈り、慰問演芸をおこないました。

矢幡長寿会は太田小学校へ竹ほうき二十本、ぞうきん百枚

麻生の永作昭さんは常盤睦会へ二千円。日の丸子供会へ二千円

粗毛寿会は福祉施設へ千円

根小屋の手賀喜兵衛さんは生活の困つている人へ九百二十円

根小屋長生会は生活の困つている人へ二千百七十一円、福祉施設へお手玉三百六十六個

南の浅野忠久さんは南老人クラブへ二千円

小高の畑木尊明さんは小高長生会へ二千円

橋門の塙熊雄さんは鹿島更正園へ理髪用椅子

南の宮内満さんは鹿島更正園へ理髪用椅子

常盤睦会は日の丸子供会へ千八百五十円

農業者年金制度

46年1月より

50アール以上農地所有者は全戸加入

―国民年金所得比例制にも―

○来春一月より農業者年金制度が実施されることになりました。これは農業○経営の規模拡大、農業者の老後の安定、離農者の農地売り渡しを円かつに○するなどの趣旨から農業の経営者を対象に国が行なうもので、資格の得喪○掛金の徴収、年金の給付などの事務は農協が行ない、農業委員会では農地○の売り渡し、買い入れ、資格者認定などを扱います。○農業者年金のおもな内容は次のとおりですが、詳細については農業委員会○(経済課内電話四二〇)に問い合わせてください。

被保険者は

△農地が五十アール以上あり昭和四十六年一月一日現在で満五十五歳以下、三十六歳以上の経営者は全員加入することになり、国民年金の所得比例制にも加入しなければなりません。

△農地が三十アール以上、五十アール未満の経営者は任意で加入することができます。

給付の種類

△移譲年金　農業経営を子供や他人に譲った場合に満六十歳から支給。

△老令年金　満六十五歳になったら支給。

△脱退一時金｝三年以上加入△死亡一時金｝した被保険者

△離農給付金

資金の貸付

農業経営の規模拡大のための農地取得資金を貸付する。

保険料

月額七百五十円(この外に国で三百二十一円補助する)

国民年金普及標語を募集

茨城県、茨城県国民年金協議会では、所得保障の大きな役割を果している国民年金制度について、いっそうの理解を深めることを目的として県民から標語を募集します。

募集要項は次のとおり。

〈応募資格〉県内居住者

〈作　品〉国民年金に対する認識を高めるもの。

〈応募方法〉一人一点、官製ハガキで、住所、氏名性別、年令、職業を明記46年1月31日しめきり。

〈送付先〉水戸市三の丸　県庁内民生部国民年金課企画係

〈賞　品〉46年3月に入選を決定、入選作品三点には賞金(一万円～三千円)佳作五点に賞品を贈ります。

あそうの農業

(3)レンコン

収穫する組合長(右)と菅谷英一さん

天掛部落では昭和二十六年に一部の人がレンコン栽培を始め、着々と実績を上げているところへ、今年政府が行なつた米の生産調整で、米作からレンコン栽培に切り替える人が多くなり、今では部落民のほとんどがレンコン栽培をしています。

丸天出荷組合(天掛のレンコン栽培者で設立、組合長藤崎勇)調べによると天掛のレンコン栽培者五十人、栽培面積二千五百アール、今年の十アール当りの収穫量は千五百～二千キログラム、金額にして二十万円を見込んでいます

栽培を始めた動機は特別になく、組合長と組合員の努力で出荷先が決つていた。価格が安定している。収穫を九月に始めると翌年四月頃まで続けられるので長期間収入を得られ、労力の配分も夫婦で秋から春の間仕事をするのにちようど良い。などの理由からここまで広まつたようです。

価格が安定しているといつても今年は、安値のため十二月以降に出荷が激増、相場の暴落が心配されています。丸天組合では、出荷先を東京築地に統一、組合員の直売を禁止して相場の高底にかかわらず平均して出荷をおこない市場の信用を得ることによつて、一時の収益より長い期間安定作物となるよう努力しています。

家平泰

森比呂志　れんさい

みんなそろって明るいお正月を

経済発展のかげには被保護家庭や被災害家庭、ねたつきり老人、独居老人、心身障害児在宅家庭など多くの福祉問題をかかえて困つている人たちが数多くいます。

年金のはなし

通産年金制度(上)

わが国は現在、国民皆年金の体制をとつています。会社や工場に勤めている人は厚生年金保険に、官公庁に勤めている人は共済組合、農林水産業や自営業の人は国民年金にそれぞれ加入し、老後をこれらの年金でくらしていただくことになつています。

職業をいくつか転々とした人などは、一つの年金制度では加入期間が短いため、老令年金や退職年金が受けられないことがあります。

これではせつかくの年金制度も実効がないので昭和三十六年に拠出国民年金が発足したのを機会に通算国民年金制度が設けられいくつかの年金制度に加入したとき、これらの加入期間を合算し、一定の年数があるときは加入期間に応じて通算老令年金、通算退職年金が支給されることになりました。

〈通算される年金制度〉

厚生年金保険、船員保険、国民年金、国家公務員共済組合、地方公務員等共済組合、私立学校教職員共済組合、公共企業体職員等共済組合、農林漁業団体職員共済組合

〈通算対象期間〉

昭和三十六年四月一日以後の公的年金の加入期間で△厚生年金と船員保険では昭和三十六年四月一日以後に公的年金に加入すれば以前の加入期間も通算対象期間になる。△共済組合では昭和三十六年四月一日に加入していた制度の同日まで通算対象期間となる。△公的年金制度に加入している人の配偶者やすでに各恩給、退職年金、障害年金を受けている人の配偶者(国民年金の任意加入とされている人)で国民年金に任意加入しなかつた期間。

戸籍の窓口

〈おめでた〉

氏名	世帯主	住所
浅野　善一	富田	〃
浅野　悟	熊蔵	〃
池田美恵子	正志	粗毛
栂見　智之	言	〃
栗原　正美	正男	麻生
深沢　寛次	さく	麻生
永作　朋代	恭彦	〃
永作　善亮	忠兵衛	〃
鴨下　悦子	透	行方
小沼　俊明	豪	〃
松兼　博美	松五郎	島並
茂木　匡	惣之助	小高
横田美ゆき	末雄	〃
新橋　真澄	朝夫	矢幡
高橋　華織	量光	石神
中根　一美	五男	小牧
大川まゆみ	金雄	小牧
本戸　はつ	元泰	籠田
高須　秀和	弘道	白浜
横田美ゆき	末雄	〃
田谷由希子	勝	宇崎
矢口　浩子	弥三郎	〃

〈おくやみ〉

吉川　賢司	りん	麻生
大山　くま	清四郎	〃
磯山　とめ		於下
小沼　正康	正	行方
大原　武七	勝男	南
浅野清兵衛	忠久	〃
畑木　きく	尊明	小高
永峰　とみ	喜久雄	〃
下河辺一郎	行雄	石神
山野弥之助	欣弥	〃
山口　つね	清一	藏川
横山　まき	忠	青沼

消防自動車

操法競技大会を開く

町では、消防ポンプ自動車の秋期点検を兼ねて操法競技大会を十二月一日、麻生中学校グランドにおいて開催しました。

審査には茨城県消防学校の住谷教頭外二名があたり、寒風の吹く広いグランドに消防自動車二台、小型動力ポンプ三十六台が出場、日頃の訓練を十分に発揮していました。

◇優勝◇

第二分団第二部(下淵)

部長　堀井　勘司

◇二位◇

第六分団第一部(青沼)

部長　原目　省吾

◇三位◇

第一分団第三部(宿)

部長　平野　広

上位二部は、来年二月に麻生で行なわれる行方郡大会に麻生町代表として出場します

競技会風景

とうちゃんガンバレ

PTAソフトボール大会

十一月二十九日、麻生中学校グランドにおいて麻生町体育協会主催によるPTAソフトボール大会が開催されました。

試合は、常日頃ボールにはエンのないお父さん、打つたボールよりバットが遠くに飛んだり、投げるボールも思うようにいかない風景が見られましたが、診プレーの中にファインプレーも見られ、応援に来たお母さんもおもわず拍手していました。

投げる、打つ、走る、お父さんたちは久しぶりの運動に汗を流し楽しい一日をすごしていました。

優勝　麻生小学校PTA

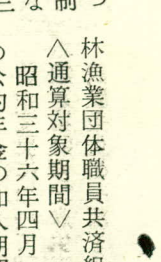
二位　行方小学校PTA

三位　大和一小学校PTA

太田小学校PTA

年末年始は交通事故が多い

年末年始は、飲酒の機会が多く飲酒運転や飲酒歩行者の交通事故が毎年、数多く発生しています。

茨城県で今年九月までに発生した交通事故は一万四百件鹿行で九百四十件、麻生町では六十八件あり、潮来町、牛堀町は県平均(人口一万あたり六十九人)をこえた人口一万あたり七十五～九十八件発生しています。

今年も年末年始には交通事故の多発が考えられますので車を運転する人は、特に注意してください。